

# であいの里広報

令和5年5月15日(2023年) No.157  
 出合校区協議会(であいの里) 兵庫県養父市出合 249  
 Tel 079-667-8020 Fax079-667-8022  
<http://www.deaikyo.com/>(ホームページ)  
 facebook 出合校区協議会検索

5月1日(月)~15日(月)

延長 ~19日(金)

## 第7回“であいの里こいのぼりまつり”開催

青葉若葉が一雨ごとに色濃くなり 季節の移ろいの速さを感じます。  
 皆さまにおかれましては農作業など外仕事に精を出しておられる頃と存じます。  
 新型コロナはひとまず落ち着いた状況の様子で、5月8日からは感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同様の5類に移行されました。しかしながら 重症化や後遺症など心配はつきません。明るい兆しも感じつつこれまで同様 感染予防につとめながら、日々の生活を楽しみましょう。  
 5月の節句、こいのぼりの季節“第7回であいの里こいのぼりまつり”を開催しています。  
 (5月15日までとしていましたが、団体見学の予定もあり、19日まで延長します。)  
 さわやかな青空の下、小路頃出合農村公園でも出合区有志によるこいのぼりが泳いでいます。  
 どうぞ併せてご覧ください。

5月1日ケーブルTVの取材あり「見に来てね」と呼びかけました



和紙製こいのぼり(廊下に展示)



小路頃出合農村公園のこいのぼり

裏面もご覧ください



時代を映した立派な絵柄の幟は誰も感動されます  
 その他葛畑土人形、五月人形、手芸品など展示

### 加工部会の活動 かしわもち作り

5月の節句:かしわ餅が食べたくなりますね。  
 久々にかしわ餅を作りました。蒸して、ついて、蒸して、と手順がたくさんで手間がかかり、せっかくのお客様に間に合わないこともしばしば、手際よくできるように頑張ります。



であいの里玄関下モ側で泳ぐこいのぼり  
 バイパスを通る車中から見てくれています

### 関宮学園トピックス

#### 兵庫県大会優勝

秋の但馬予選会を勝ち上がった関宮学園・浜坂中学校合同チームが5月4日~6日北播地区で開催された全日本少年軟式野球大会兵庫予選会に出場し、見事優勝しました。  
 近畿大会は6月3日に大阪府和泉市で開催されます。



おめでとう すご---い! 関宮学園・浜坂中学校合同チーム ガンバレ! みんなで応援してるよ! 出合校区協議会

### 主な事業計画等

- 5月17日(水)19:30~  
文化部会  
健康福祉部会  
環境安全部会
- 5月20日(土)13:30~  
加工部会
- 5月下旬(予定)  
運営委員会
- 5月24日(水)出会いカフェ

### 主な活動経過等

- 4月13日(木)  
区長会・自治振興部会
- 4月中旬~ひなまつり片付  
中・下旬こいのぼり準備
- 4月19日(水)健康福祉部会
- 4月24日(月)和田山6人  
南但馬生研総会、打合せ
- 4月25日(火)  
県道改修期同盟監査・役員会
- 4月26日(水)出会いカフェ
- 5月3日(水)市内7850部  
こいのぼりまつり新聞折込
- 5月1日(月)~15日(月)~19日(金)  
延長 こいのぼりまつり
- 5月11日(木)普及員と打合せ
- 5月14日(日)  
吊り飾り作り講習会
- 5月15日(月)  
市DF課・国戯課打合せ

# 残しておきたい懐かしい思い出など(パート4)

村の行事など 安井

## ◆ 堂迎会のおにぎり

お正月には村を代表して3人が元伊勢にお詣りに行っていました。(安井区は数年前から高齢化によりお詣りは中止しています。)車の無い頃は前日から泊りで出かけていたそうです。その日は、当番のお母さんたちが食事の準備をして堂迎会兼新年会が催され、子どもたちにはおにぎりが1個ずつふるまわれていました。とても食べきれないくらい大きな白くて丸いおにぎりを記憶していますが、大鍋の底にたくさんきたオコゲもまじっていたようです。新聞紙に包んで一人ずつもらった記憶があります。おにぎりはずっーと昔の食糧も豊富ではなかった頃のことでしょうが、いつごろまで続いていたのかわかりません。当時の公会堂には炊事設備もなく個人の家で作っていたようです。

## ◆ 盆踊り

昭和30年代、40年代は盆踊りが盛んでした。そんなに広くない広場ですが3重・4重にも輪になって踊りました。村の人も帰省客も親戚の人も皆さんゆかたを着て下駄をはいて、こぞって集っていました。そこに夜10時か11時頃になると隣村からも大勢移動してきます。ますます人が増え夜明け近くまで踊ったこともあります。当時は必ずと言っていいほど各学年の同窓会が盛んで、その流れで大人数になっていたように思います。音頭だし(生歌)に太鼓で、「しゃんとこ」「安井青年の歌」(青年団歌と言っています)、また「炭坑節」「デカンショ節」「福知山音頭」「相馬盆唄」「おこさ節」など、レコードの曲も盛りたくさんでした。何と言っても青年団歌は何故か特に人気でした。きっと前後の人と手をつなぐところがあったからかなあ? 近年はコロナ禍で盆踊りは全くありませんが、村の人もわずかの方しか出なくなり今後はどうなるのやら。



あ、新道の道を負って  
濁寺の中にわれ立てば  
自覚の胸は高なりて  
熱血わくわく  
覚ゆかな

安井青年の歌  
作詞 田中茂昭  
銀扇空にひらひらと  
理髪は高き氷山の  
流れを吸みそ生い立ち  
うららかな  
わが安井

昭和四十六年十月  
安井公会堂の竣工に  
お慶びの意を  
表す  
安井 公一

安井公会堂の額より

自重と自治の精神の  
根を深くのたため  
立つべきときを待たず  
玉珠の道  
ひとすじに  
時代の風は吹き荒れて  
道義の道はおとろえね  
前途のやみを照らすは  
わがまことの  
使命なり

## ◆ 山の神まつり 安井

11月の山の神まつりには「富くじ」がありました。各家に家族やお客の人数に応じた数の「くじ札」(半紙を細く切り番号や色な名前を記入した)が配られます。決められた時間に「くじ」(家で1枚の紙に張り付けて見つけやすくしていました)をもって神社に集まります。境内は村中の人や親せきの方たちでいっぱいになっていました。役員か当番の方が配られたものと同じ字の札の入った大きな木箱を高く持ち上げてガラガラと回し一つを取り出し読み上げます。同じ札を持っている人は返事をしてその景品をもらいに出ます。景品などあまり記憶がありませんが、お玉や餅焼き網など、大ぶしはお酒だったのかも、大きな木箱をガラガラする音が懐かしくよみがえります。

## ☎ 電話

各戸に電話がない頃、昭和30年代?に各部落に一軒赤い公衆電話が設置されました。電報に代わる便利で新しいもの、緊急の場合しか使われなかったでしょうが、公衆電話がかかると家主さんは〇〇さんの家まで歩いて呼びに行かなければなりません。ご苦労さまでした。電話をかける場合は取っ手をぐるぐる回すと交換手が出ます。相手の番号を告げてつないでもらいますが、場所により即時、待時があります。即時は即つながる。県内でもちょっと遠くは待時でした。待時は一旦切ってしばらく待たなければなりません。何10分か、1時間以上も待つこともありました。(昭和40年代前半でもこのような状態でした。)熊次にかけるときは「131の〇〇番」と言っていました。昭和30年代の後半には、農協(関宮・熊次)経営の有線電話が関宮町内全戸に設置され関宮町内は便利になりました。「〇〇区の〇〇番お願いします。」と申し込むと交換手が「〇〇番の方、



別宮、大久保、福定、安井、鶴縄は昭和33年8月に電話開通しました。

〇〇番の方」と放送し、受話器をとっていました。10軒位の組になっていたため、呼び出しは同じ組のどの家でも〇〇さん宅にかかっていたことが分かる仕組みで、組内ならどの家でもとれます。その後、ダイヤル式の電話機が設置され交換手もいらなくなりました。しばらくすると、各戸に公社電話が普及し有線電話も不要になってきました。今では1人1台、どこにいてもすぐかけられる携帯電話、種々の機能を備えたスマートフォンが無くてはならない存在になりました。便利になればなるほど悪用されることが増えます。便利さばかりを優先するのは考えものだと思いますが後戻りはできません。しっかりした対策が同時進行で進むことを望みます。

## ◆ コカ・コーラ 初めての味

就職したての昭和42年頃、先輩のお手伝いで外出、自動販売機でコカ・コーラを買ってもらいました。それまで一度も飲んだことがなく初めて口にするとコーラ、どんな味をするのか 恐る恐る一口、口に入れたとたん 強烈な衝撃的なシュワシュワ!炭酸の甘いような苦いような・・・何とも例えようのない味



先輩の前で吐き出すことも出来ず、我慢してやっとの思いで一口飲み込みました。その後、しばらくコカ・コーラは飲みませんでした。ところが、コーラの味が変わったのかなと思えるほど、いつの間にかそれが美味しく感じられるようになりました。不思議な飲物です。



あいまいな記憶から書いていますので間違っているかもしれませんが、よくご存じの方はどうぞ教えてください。いただきたくお願いします。(投稿者より)

残しておきたい懐かしい思い出一次号へ続く